

数理・物性構造科学専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

【博士課程前期】

博士課程前期においては、主査を中心に学内数名の指導教員が修士論文の完成まで指導を行う。修士論文執筆の能力を獲得するとともに学術情報発信の実際を経験するため、学会への参加が奨励される。なお、以下のスケジュールは、学生の専門分野により変動することがある。

年次	内容	研究指導概要
1年次		
4月	毎週「特別研究」において、指導教員に対して研究報告を行い、指導を受ける。	・指導教員の決定 ・4月以降指導教員による修士論文執筆指導及び研究指導
6月～	研究テーマ・内容の決定	・2年生が行う修士論文中間発表会に参加させ、研究や論文作成方法を修得させる。 ・「総合演習」において、研究方法や発表方法を研究指導 ・学会等への参加を奨励
2年次		
4月	研究テーマ・内容の確認	・研究の進捗状況の確認と研究指導
10月	・修士論文中間発表会で報告	・中間発表会で問題点等を指摘及び指導
1月～2月	修士論文の最終提出、口頭試問 (博士課程後期入学試験)	・修士論文審査委員会の設置及び審査の実施 ・最終試験(口述試験)の実施及び可否の決定 (博士課程後期入学者、進学者の決定)
2月	研究科委員会における修了認定	・修士論文可否の決定
3月	学位(修士)授与	

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

【博士課程後期】

博士課程後期においては、主査を中心に学内数名の指導教員が博士論文の完成まで指導を行う。学術雑誌論文誌等に執筆論文が掲載される。博士論文執筆の能力を獲得するとともに学術情報発信の実際を経験するため、学会への参加が奨励される。なお、以下のスケジュールは、学生の専門分野や研究の進捗状況により変動することがある。

年次	内容	研究指導概要
1年次		
4月	研究体制・研究計画の確定	・指導教員の決定 ・指導教員による博士論文執筆指導及び研究指導
10月	指導教員に対して、研究の進捗状況等を随時報告 履修(論文執筆)指導計画の確認	・研究の進捗状況等の報告を随時受け研究指導を行う。 ・履修(論文執筆)指導計画の見直し
2年次		
4月	研究テーマ・内容の確認 中間発表会	・研究の進捗状況の確認と研究指導 ・中間発表会で問題点等を指摘及び指導
3年次		
4月	予備審査の準備 中間発表会	・論文執筆の具体的指導 ・論文概要の作成指導 ・中間発表会で問題点等を指摘及び指導
9月～10月	予備審査	・予備審査会の設置と予備審査
12月	博士学位論文及び概要等の提出	・研究科委員会へ博士論文提出 ・学位審査委員会の設置
1月～2月	審査委員会による審査	・博士論文の審査 ・口述試験
3月	公聴会 学位(博士)授与	・公聴会結果を研究科委員会に報告

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

## 物質・生物機能科学専攻 研究指導スケジュールと研究指導概要

### 【博士課程前期】

博士課程前期においては、主査を中心に学内の複数の教員が修士論文の完成まで指導を行う。修士論文執筆の能力を獲得するとともに学術情報発信の実際を経験するため、学会への参加が奨励される。

年次	内容	研究指導概要
<b>1年次</b>		
4月～	毎週「特別研究」において、指導教員に対して研究指導の進捗状況を報告し、研究指導を受ける。適宜研究室内で中間報告を行う	・4月以降指導教員による修士論文執筆指導及び研究指導
9月～	研究テーマ・内容の確認と決定	・2年生が行う修士論文中間発表会、最終報告会へ参加し、研究や論文作成方法を修得する ・学会への参加を奨励
9月～	総合演習において研究テーマの紹介とこれまでに進んだ研究成果を披露する。それに対して批判的な意見を受ける。	・研究方法が適切か今後の展開が十分行えるかを教員全体で批判し、研究を正しい方向へ向けるように激励する
<b>2年次</b>		
9月～10月		・学会への参加を奨励
10月	・中間発表会で指摘された問題点等を踏まえて、研究を見直し、方向性の修正。	・中間発表会で指摘された問題点等を踏まえた研究指導
1月～2月	修士論文の最終提出、研究発表会 修士論文審査	・指導教員1名、副指導教員2名の決定 ・修士論文審査委員会の設置・修士論文審査の実施・最終試験(研究発表会)の実施・修士論文可否の決定
2月	博士課程後期入学試験	(博士課程後期入学者、進学者の決定)
3月	研究科委員会における修了認定 学位(修士)授与	

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。

### 【博士課程後期】

博士課程後期においては、博士論文の提出にあたって、学会誌または大学院紀要などに掲載された論文を1編以上有すること、また学会誌掲載論文のうち1編は審査を経て認められた論文であることが基礎資格として課されている。博士課程前期と同様、指導教員を含む複数の指導教員による指導がなされる。研究情報発信の経験と知識を積むために学会への参加は、前期に引き続き奨励される。

なお、以下の論文指導スケジュールは、学生の専門分野や研究の進捗状況によって異なるため変動的である。指導教員による博士論文作成に関する指導、予備審査会における研究計画の承認や、博士論文中間発表会が学生ごとに行われる。

年次	内容	研究指導概要
<b>1年次</b>		
4月	研究テーマの決定と内容の確認 研究指導体制・指導計画の確定	・4月以降指導教員による博士論文執筆指導及び研究指導・履修(博士論文執筆)指導計画の策定
4月～	指導教員に対して、研究の進捗状況等を随時報告し指導を受ける。	・研究の進捗状況等の報告を随時受け研究指導を行う
<b>2年次</b>		
4月	中間発表会	・テーマの妥当性、今後の研究の方向性に対する指導をする ・中間発表会で問題点等を指摘及び指導する ・1年次における研究の進捗状況と今後の研究計画の確認
4月～2月		・博士論文執筆の進捗状況の確認及び研究指導
10月	履修(論文執筆)指導計画の確認	・履修(論文執筆)指導計画書の再検討
<b>3年次</b>		
4月	中間発表会	・これまでの研究進捗状況と論文執筆への計画の策定
～10月	博士論文専攻内予備審査	・予備審査会の設置 ・博士論文の予備審査・口述試験の実施(主査1名、副査2名)
10月		
12月	博士学位申請論文及び概要等の最終提出	・研究科委員会へ博士論文提出 ・学位審査委員会の設置(主査1名、副査2名以上の承認)
1月	研究科委員会の博士学位申請受理 審査委員会による公開審査(公開口頭試問、最終試験の実施)	・博士論文の審査・最終口述試験の実施
2月～3月	研究科委員会における審査結果報告、 学位授与審議 学位(博士)授与	・博士学位授与の決定

※上記は3月学位授与のケースであり、状況により内容及び時期等を変更する場合がある。